患者誤認防止のためのフルネーム確認について（目標８）

名古屋市立大学病院　医療安全管理室・看護師　高木清子

目 的：患者・市民と医療者のパートナーシップを通じてケアの質・安全と相互信頼を向上させる。
推奨する対策：2a.「安全は名前から」（患者と医療者の共同によるフルネーム確認）

●開始時の現状と取り組み課題

［現状］

当院では、患者誤認防止対策として、患者様に氏名を名乗っていただいて患者確認をするということを院内研修会などを通じて全職員に周知徹底している。また、リスクマネージメントマニュアルにも掲載し、平成23年度では院内医療安全巡視の目標として「患者誤認防止の徹底」を掲げて取り組んでいる。しかし、患者誤認防止対策は、医療者のみの取り組みだけでは成し得ることはできず、患者と職員の双方に患者確認の意義を理解してもらい、互いが協力して患者確認することができるような環境を作っていく必要があり、そのための環境整備を行うことが課題である。

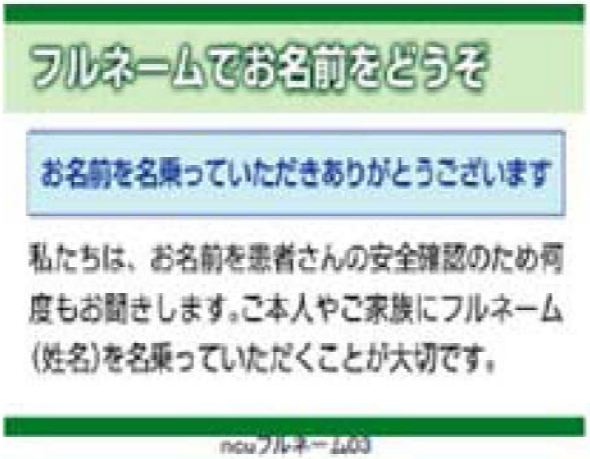
［取り組み課題］

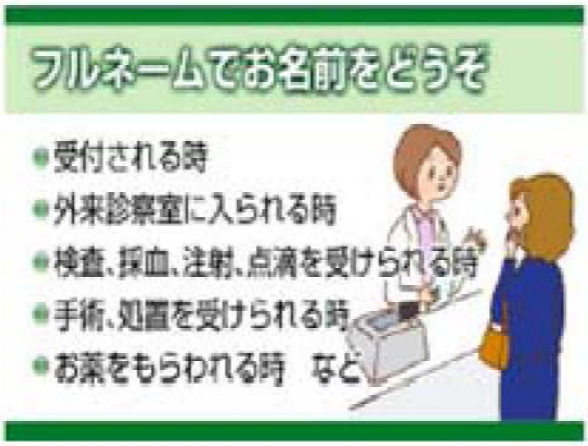
患者と職員の双方に患者確認の意義を理解してもらい、互いが協力して患者確認することができるように環境整備を行う。

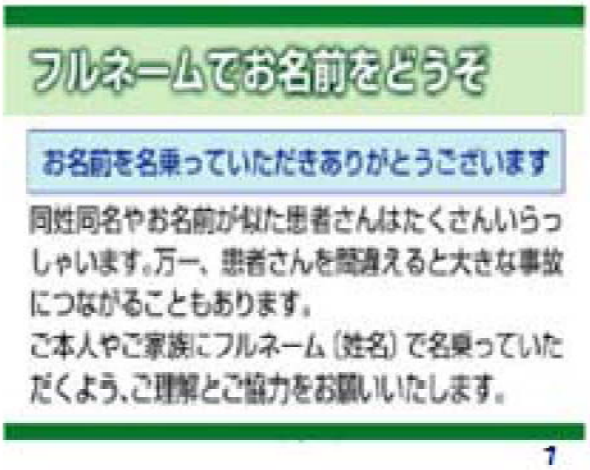
●実施したこと

フルネーム確認の意味を理解してもらうため、外来情報端末に“あなたの安全を守るのはあなた自身です”などの情報を掲載し、繰り返し放映する。

［実際のプロダクツ］　（外来情報端末より）







●取り組み評価

現在、医事課に協力を依頼し、患者を対象とした「病院についてのアンケート」を実施中であり、平成24 年4 月に集計が行われる。これにより、外来情報端末での周知度や掲載した情報が理解されやすいものであったかの評価を行う。